

令和6年度 つくば市立図書館利用者満足度調査 結果報告書

■ 「つくば市立図書館利用者満足度調査」について

図書館利用者の利用実態や満足度を調査し、図書館運営に生かすための基礎資料として活用するもの。

例年、中央図書館利用者を対象にアンケート用紙による調査を実施していたが、令和5年度から電子申請による回答も可能とし、令和6年度(今回)から中央図書館以外のサービスポイントの利用者も調査対象とした。

■ 調査概要

(1) 調査期間

令和7年(2025年)2月20日(木)から3月23日(日)まで(32日間)

※ うち、中央図書館開館日数は26日間。小学校図書室の開室日は11日間。

(2) 調査方法

I. アンケート用紙

中央図書館、分室(谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室)、閲覧所(研究学園・みどりの南小学校図書室)で配布及び回収

※ 配本所(つくば市庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館予約本受取窓口)では、アンケート用紙ではなくQRコードの掲載されたチラシを配布し、インターネットでの回答を促した。

II. いばらき電子申請・届出サービス(インターネット)

(3) 対象

つくば市立図書館の利用者、つくば市内に在住・在学・在勤する者

(4) 周知方法

館内ポスター・モニターによる掲示、チラシ配布、つくば市立図書館ホームページ、つくばスマートシティアプリ「つくスマ」、一部窓口での声かけなど

(5) 回答数

回答方法	回答数(件)
I アンケート用紙	160
II インターネット	318
合計	478

■ 調査結果

(1) 回答方法・回答場所ごとの回答数

インターネットによる回答が多く、アンケート用紙の約2倍の回答数が得られた。

アンケート用紙の回収場所としては中央図書館が約半数(160人中 75人)を占めており、次いで筑波交流センター図書室、小野川交流センター図書室が多くなっている(表1・図1)。筑波及び小野川交流センター図書室においては、貸出等を行う窓口で職員から利用者に対して声かけやアンケート用紙の手渡しがあったため、回収枚数の増加につながったと考えられる。

表 1 回答方法・回収場所ごとの回答数

回答方法	回収場所	回答数(人)
アンケート用紙	中央図書館	75
	筑波交流センター図書室	39
	小野川交流センター図書室	28
	谷田部交流センター図書室	6
	荳崎交流センター図書室	6
	みどりの南小学校図書室	6
	研究学園小学校図書室	0
	小計	160
インターネット	-	318
合計		478

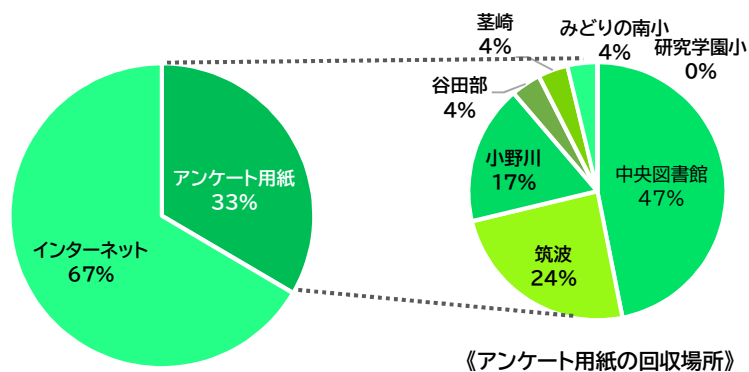


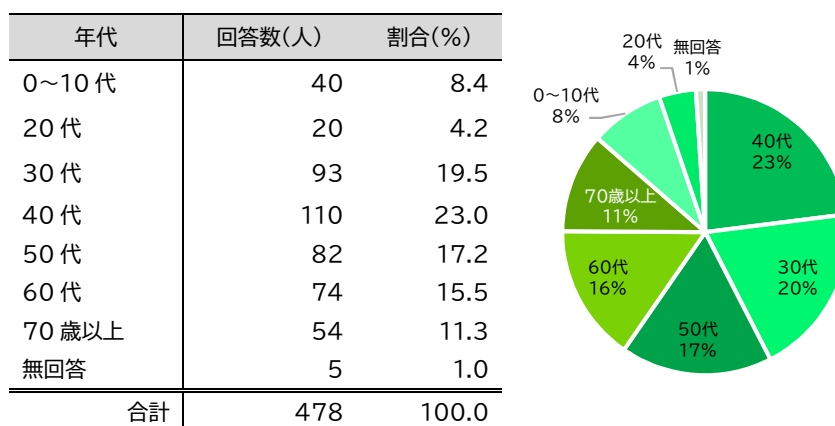
図 1 回答方法・アンケート用紙の回収場所ごとの割合

(2) 回答者の属性

i. 年齢層

回答者の年齢層は、40代が最も多く、30代から60代までの年代を合わせると全体の4分の3を占める。一方、20代の回答数が最も少なく、わずか4%となっている(表2・図2)。

表2・図2 回答者の年齢層とその割合



回答方法及びアンケート用紙の回収場所ごとの回答者の年齢層については、表3のとおりである。40代のインターネットによる回答が最も多く、全体の約2割を占める。アンケート用紙については、中央図書館における0歳から10代までと60代、筑波交流センター図書室における70歳以上による回答が比較的多くなっている。

表3 回答方法・回収場所ごとの回答者の年代

回答方法・回収場所 ／回答者の年代	0～ 10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳 以上	無回答	総計(人)
アンケート用紙(中央)	22	1	10	11	7	14	8	2	75
アンケート用紙(筑波)	1	-	2	4	6	7	19	-	39
アンケート用紙(谷田部)	3	-	-	1	1	-	1	-	6
アンケート用紙(小野川)	1	1	1	2	7	9	7	-	28
アンケート用紙(荃崎)	-	-	-	-	2	2	2	-	6
アンケート用紙(みどりの南)	4	-	1	-	-	-	1	-	6
インターネット	9	18	79	92	59	42	16	3	318
総計(人)	40	20	93	110	82	74	54	5	478
割合(%)	8.4	4.2	19.5	23.0	17.2	15.5	11.3	1.0	100

ii. 居住地

回答者 478 人のうち、約9割がつくば市内と回答した(図3)。「つくば市外」と回答した 13 人については、近隣自治体である土浦市が4人、牛久市が3人と多かった。

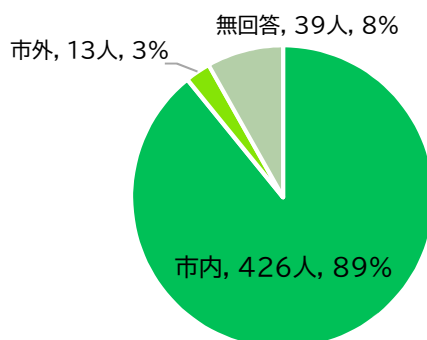


図 3 回答者の居住区分

iii. 利用カードの有無・登録区分

回答者 478 人のうち、98%は利用カードを所持している利用登録者であった。利用カードを所持している回答者 467 人の登録区分は、「市内在住」がほとんどであった。

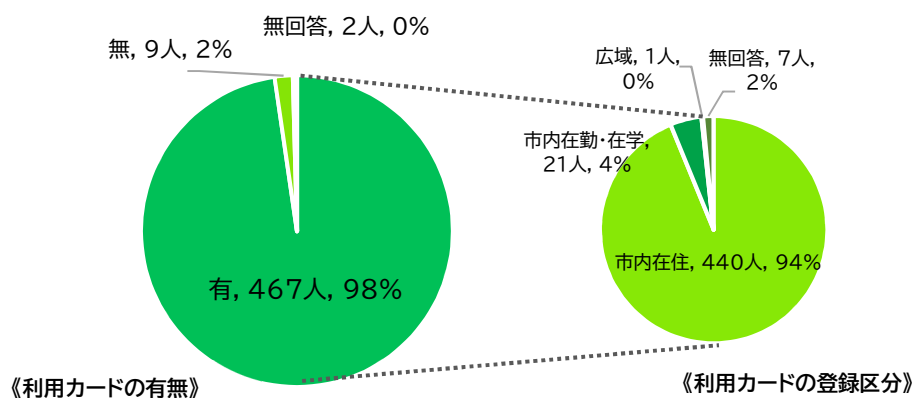


図 4 利用カードの有無／登録区分

(3) 図書館の利用実態

i. 最も利用するサービスポイント(択一式)

回答者が最も利用しているサービスポイントは、中央図書館が 44%と多いが、小野川及び筑波交流センター図書室や、市庁舎コミュニティ棟予約本受取窓口も1割以上となっていた(表4)。

表 4 最も利用するサービスポイント

サービスポイント	回答数(人)	割合(%)
中央図書館	211	44.1
小野川交流センター図書室	72	15.1
筑波交流センター図書室	65	13.6
コミュニティ棟	57	11.9
谷田部交流センター図書室	26	5.4
荃崎交流センター図書室	11	2.3
かとりだい交流館	9	1.9
研究学園小学校図書室	8	1.7
みどりの南小学校図書室	6	1.3
自動車図書館	5	1.0
利用していない	5	1.0
その他	2	0.4
無回答	1	0.2
合計	478	100.0

また、回答方法及びアンケート用紙の回収場所ごとに内訳を算出した(表5)。アンケート用紙の回収場所と最も利用するサービスポイントは、おおむね同じ場所となっているが、それらが一致しないケースが複数件見られた。特に、アンケート用紙の回収場所は中央図書館以外の分室だが、最も利用するサービスポイントは中央図書館としている回答者が7人いた。中央図書館と分室を併用している利用者がいることがうかがえる。

表 5 回答方法・アンケート用紙の回収場所と最も利用するサービスポイント(人)

		回答方法・アンケート用紙の回収場所							合計
		用紙 (中央)	用紙 (谷田部)	用紙 (小野川)	用紙 (荃崎)	用紙 (筑波)	用紙 (みどりの南)	インター ネット	
最も 利用 する サー ビス ポイ ント	中央図書館	69	3	1	-	3	-	135	211
	谷田部交流センター図書室	1	3	-	-	-	-	22	26
	小野川交流センター図書室	-	-	27	-	-	-	45	72
	荃崎交流センター図書室	1	-	-	6	-	-	4	11
	筑波交流センター図書室	-	-	-	-	36	-	29	65
	コミュニティ棟	-	-	-	-	-	1	56	57
	かとりだい交流館	-	-	-	-	-	-	9	9
	研究学園小学校図書室	-	-	-	-	-	-	8	8
	みどりの南小学校図書室	-	-	-	-	-	5	1	6
	自動車図書館	1	-	-	-	-	-	4	5
	利用していない	1	-	-	-	-	-	4	5
	その他	1	-	-	-	-	-	1	2
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	1
合計		75	6	28	6	39	6	318	478

ii. 主な利用目的

図書館や図書室などに来館する主な目的については、本や雑誌など資料の貸出を選択する回答者が多く、9割を超えている。一方、館内で資料を閲覧すること(4.4%)、勉強や調べものをする(2.7%)の回答はわずかであった。

表 6 主な利用目的

主な利用目的	回答数(人)	割合(%)
本や雑誌などを借りる	436	91.2
図書館・図書室等の中で本や雑誌を読む	21	4.4
勉強や調べものをする	13	2.7
その他 ※	3	0.6
複数回答	1	0.2
無回答	4	0.8
合計	478	100.0

※その他3件……本・雑誌以外の資料の閲覧

iii. 館内での滞在時間

館内における滞在時間は、「10～30分」の回答が最も多く、全体としても1時間以内とする回答者は多い(図5)。

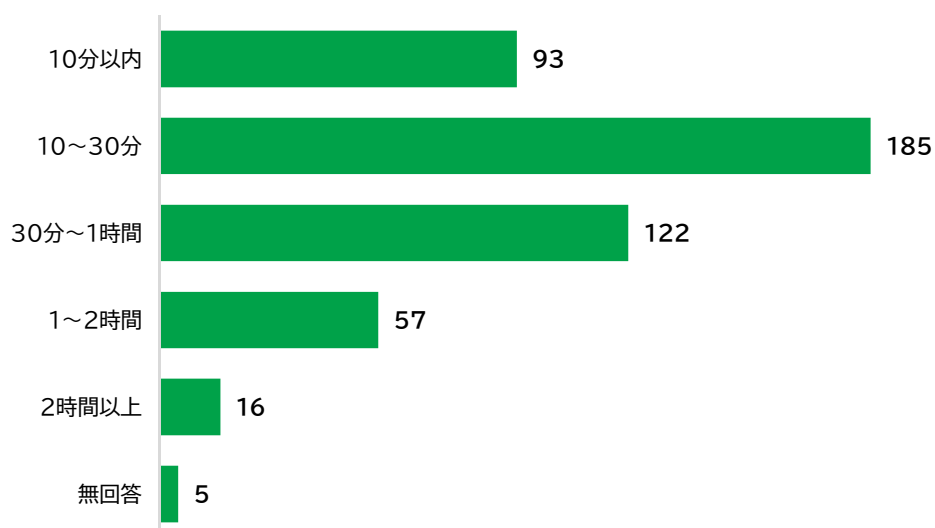


図 5 館内での滞在時間(人)

また、「最も利用するサービスポイント」ごとに滞在時間の内訳を算出したところ、市庁舎コミュニティ棟、かとりだい交流館の予約本受取窓口などで「10分以内」の回答が多くなっていた(表7)。これについては、予約本受取窓口の利用者が、予約本受取窓口における所要時間を回答した可能性が考えられる。

一方、最も利用するサービスポイントとして中央図書館を選択した回答者においては、他のサービスポイントよりも比較的長時間滞在する人が多かった。

表 7 最も利用するサービスポイントと滞在時間(人)

★……予約本受取窓口							
	10分以内	10～30分	30分～1時間	1～2時間	2時間以上	無回答	総計
中央図書館	6	70	76	45	13	1	211
小野川交流センター図書室	22	41	7	2	-	-	72
筑波交流センター図書室	14	34	13	3	1	-	65
★コミュニティ棟	37	11	6	2	1	-	57
谷田部交流センター図書室	1	17	6	2	-	-	26
荃崎交流センター図書室	1	5	3	1	1	-	11
★かとりだい交流館	8	1	-	-	-	-	9
研究学園小学校図書室	3	3	2	-	-	-	8
みどりの南小学校図書室	-	3	3	-	-	-	6
自動車図書館	1	-	3	1	-	-	5
利用していない	-	-	1	1	-	3	5
その他	-	-	2	-	-	-	2
無回答	-	-	-	-	-	1	1
総計	93	185	122	57	16	5	478

iv. 図書館・図書室の利用頻度

図書館及び図書室等の施設の利用頻度は、「月2～3回」の回答が最も多く、478人のうち約半数が選択している(図)。通常、資料の貸出期間が2週間であることを考慮すると、月2～3回程度が標準的な頻度であると言える。月2～3回以上の頻度で来館している回答者は多く、全体の8割を超えている。

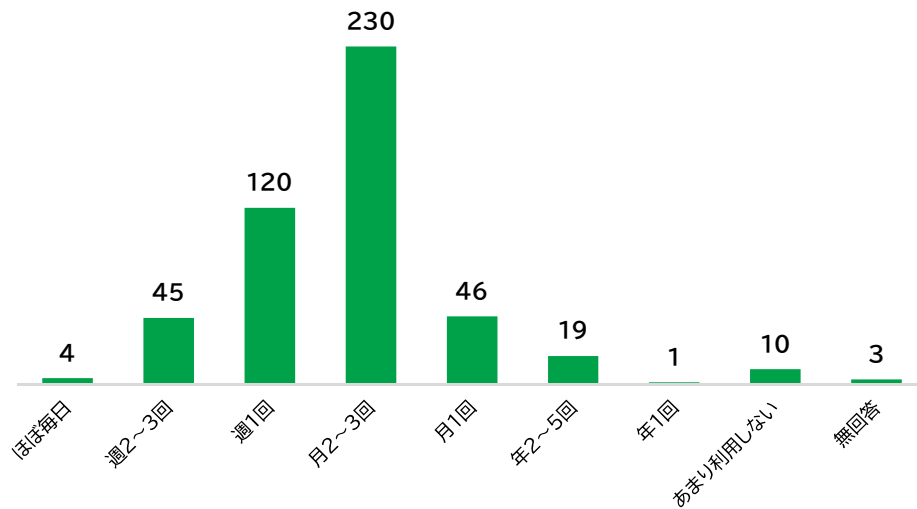


図 6 図書館・図書室の利用頻度(人)

一方、インターネットでの回答者を対象に「図書館や図書室を利用しない理由」について回答を求めたところ、下記の回答が得られた。

- 図書館が家から遠いから
- 夜に開館していないから
- 本が探しやすい、高いところの本が取りづらいから
- 蔵書が少ないから、書架に魅力がないから
- 電子図書館で読書できるから
- 駐車場が遠くて不便だから(中央図書館)
- 施設が老朽化していてきれいでないから
- 静かすぎて苦手だから(BGM が欲しい)
- 子どもが騒いでしまうためゆっくり滞在できないから(予約本受取窓口を利用している)
- 閲覧席が混んでいるから、落ち着ける座席がないから

v. 図書館に関する情報収集方法(複数回答)

図書館ホームページ(HP)が最も多く、回答者478人のうち6割が選択している。一方、「どこからも情報を得ていない」と回答した人は、478人のうち約15%に上っている。また、「その他」として、貸出窓口で職員から情報を得る、との回答が6件あった。

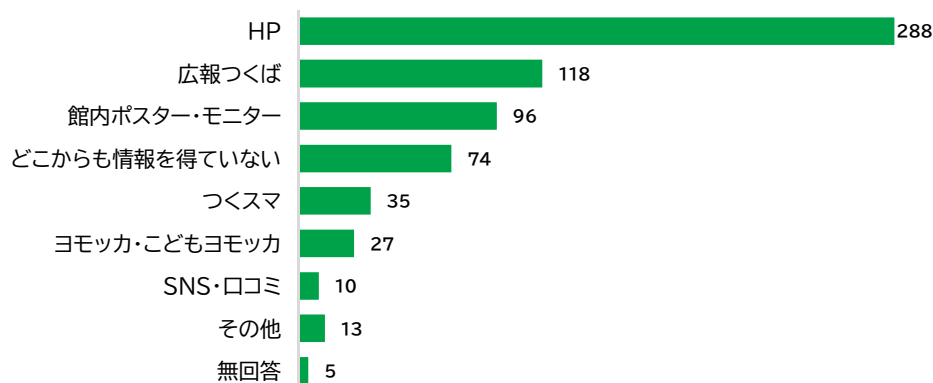


図 7 図書館に関する情報収集方法(人)

(4) 各サービスに対する満足度

10項目に対する満足度を「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「わからない」で評価していただいた。結果は、次ページの図のとおりである。また、下記の項目で特徴的な結果が得られた。「不満」「やや不満」「わからない」の割合が高い項目については、今後改善に取り組む必要がある。

満足度が高い項目
(「満足」「やや満足」70%以上)

- ① スタッフの対応(窓口・電話等)
- ③ 開館時間・開館日数
- ⑤ 館内の過ごしやすさ
- ⑦ 館内の案内表示

満足度が低い項目
(「不満」「やや不満」30%以上)

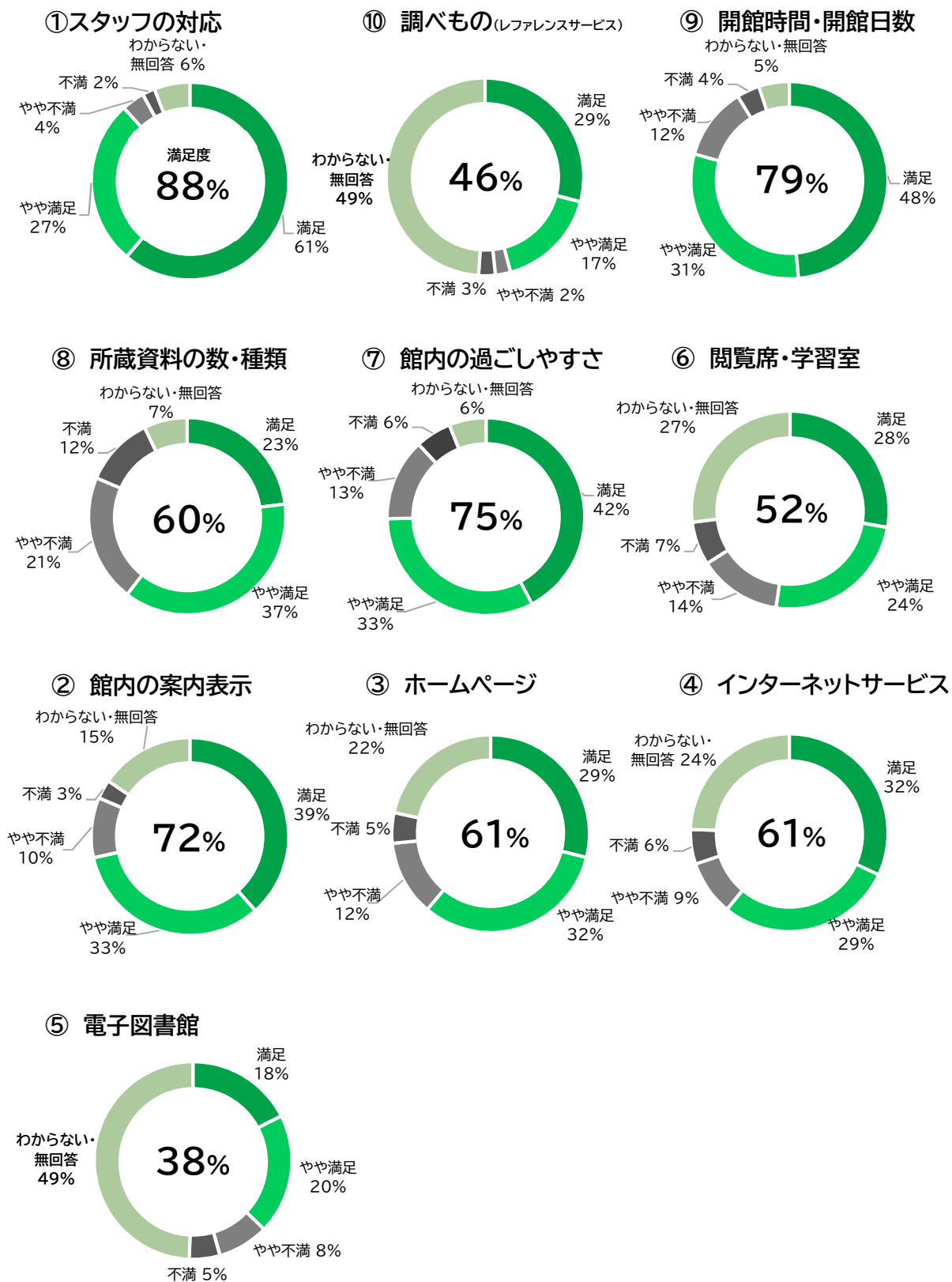
- ④ 所蔵資料の数・種類

知名度が低い・利用されていない項目
(「わからない」及び無回答40%以上)

- ② 調べもの(レファレンスサービス)
- ⑩ 電子図書館サービス

各サービスに関する満足度①～⑩

※「満足度」……「満足」「やや満足」の合計



(5) 総合的な満足度

「満足」「やや満足」を合わせた満足度は8割を超えている。無回答17人を除くと、その割合は83%に上る。一方、「やや不満」「不満」と回答した計78人の意見や要望についても、できる限り意見を収集し、改善を図っていききたい。

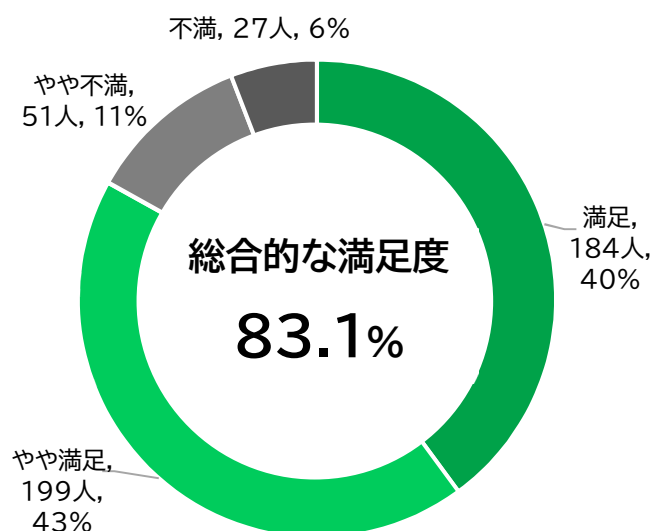


図 8 総合的な満足度(無回答を除く)

(6) 図書館への御意見(自由記述)

現在の図書館サービスへの感謝の言葉とともに、より一層の利便性向上や機能拡充を求める声が多数寄せられた。特にインターネットを通じた利便性向上、蔵書数の大幅な拡充と多様化、そして駐車場をはじめとする施設の改善に対する要望が多かった。詳細は次のとおりである。

1. サービスの利便性向上・システム改善に関する要望

・ インターネットサービスの使いやすさ向上

- お気に入り、予約、延長などの手続きをネット上でより簡単にできるようにしてほしい。
- ホームページからの蔵書検索機能の改善、キーワード検索の精度向上。
- WebOPAC 利用時の毎回ログインの不要化、ログイン状態の維持。
- 利用カードをつくスマアプリに登録する際に家族カード（特に子ども用）も登録できるようにしてほしい。
- インターネット上で利用カードの登録や更新をできるようにしてほしい。
- 貸出期間を過ぎてもネットで延長できるようにしてほしい。
- 読書履歴の Web 上での確認や印刷機能の導入（読書通帳）。

・ 予約・貸出返却・リクエストに関する要望

- 本のリクエストがインターネットからしづらい、又はできなくなったことへの不便さの訴え。
- 予約人数だけでなく受取館ごとの待ち人数も表示してほしい。予約資料を受け取るまでにどのくらい時間がかかるか確認したい。
- 漫画（コミック）、CD、DVD の予約や延長、リクエストができるようにしてほしい。
- CD、DVD を中央図書館以外でも貸出返却できるようにしてほしい。
- 発行年が古くても良書であれば購入してほしい。
- 予約できる本の冊数を増やしてほしい。
- 受取館に在庫がある本でも予約を受け付けてほしい（特に中央図書館）。

- 市内に本があれば取り寄せられるようにしてほしい（中央図書館にあっても、図書室にあっても市所有の本であることは変わらない）。
- 予約本の受取可能期間の延長、受取場所の増設。
- 貸出冊数の上限を増やしてほしい。
- 返却処理がシステムに反映されるまでの時間の短縮。
- 購読する雑誌に市民の意見を反映してほしい。
- 茨城県立図書館の資料の貸出返却を全館で可能にしてほしい。
- 牛久市の図書館とも連携してほしい。
- 市役所コミュニティ棟での返却処理の導入。
- **返却ポストの増設**
 - つくばエクスプレス（TX）沿線（つくば駅、研究学園駅、みどりの駅など）や商業施設（イーアスなど）に返却ポストを設置してほしい。
 - ドライブスルー形式の返却ポストの設置。

2. 資料の充実に関する要望

- **蔵書数の増加**
 - 全体的な蔵書数を増やしてほしいとの声が多数。特に人気のある本の予約待ち期間が長いため、在庫を増やしてほしい。
 - 予約が多数入っている新着図書は、1冊を館内閲覧専用として置いておいてほしい。
 - 子どもの本の冊数を増やしてほしい。
 - 漫画（コミック）の充実。
 - 英語の絵本、日本史の子供向けの本、シニア向けの本の増加。
 - IT 関連技術書、投資に関する本、学術書（大学参考書レベル）の充実。
- **電子図書館の充実**
 - 電子書籍の蔵書数を増やしてほしい。
 - 雑誌も電子書籍として借りられるようにしてほしい。

- 電子書籍のリクエストを受け付けてほしい。
- 電子図書館で本が探しづらい（読み上げ機能付きのものを探すなど）。
- 全集や地域資料の電子書籍化、オフラインでの閲覧機能。
- **蔵書・書架の改善**
 - 古い良書、専門書の廃棄方法や保管状況への懸念。
 - 床に近い本棚の改善。
 - シミや汚れのある本の買い替え。
 - 古い本の匂いについての意見。
 - 子どもの本の並べ方をタイトル順にするなど、探しやすさの改善。
 - 閉架書庫の本をできるだけ開架に出してほしい。
 - 中央図書館の開架書架の背表紙の整理。

3. 施設・設備、開館時間に関する要望

- **開館時間の延長・柔軟化**
 - 祝日の開館を求める声。
 - 開館時間を早めてほしい（8:00～8:30 希望）又は遅くまで開けてほしい（20:00～21:00 希望）。
 - 長期休館や月1回の休館日を減らしてほしい。
- **閲覧スペース・学習環境の改善**
 - 館内が狭い。
 - 閲覧席の増設（ソファではなく机と椅子を増やす）。
 - 閲覧席、学習室の2時間ルールの撤廃、自由化。
 - 静かな環境の維持（子どもの声を気にしないでもいいような環境整備）。
 - YA コーナーを作してほしい。
 - 館内の雰囲気（暗い、不潔感）の改善、照明の明るさ向上。

- **駐車場の改善**

- 駐車場が遠い、有料、狭いことへの不満が多数。
- 図書館に隣接した無料駐車場の設置を求める声が多数。
- 駐車時間の延長（2時間では短い）。
- 雨の日も濡れないような配慮。
- 駐輪場の照明の改善。

- **トイレのリフォーム・清潔さ向上**

- 特に中央図書館のトイレについて、古さや清潔感、狭さ、除菌クリーナーの設置を求める声。

- **新しい図書館の建設**

- 図書館の新設（豊里地区、みどりの地区、研究学園地区、人口が増えた地域）。
- 新しい図書館建設検討の加速。
- 理想の図書館について（土浦市立図書館、茨城県立図書館、金沢市の図書館、松代市、神栖市、さいたま市、韓国・アメリカ・カナダなど）。

- **その他施設・設備**

- Wi-Fi 接続の安定化。
- 館内スピーカーのノイズ修理。
- 館内で使用できるかごやブックカートを置いてほしい。
- 館内の空気が悪いため換気をしてほしい。
- 用紙の記載台を設置してほしい。
- 中庭の活用方法に関する意見（ウッドデッキ化への賛否）。
- 自動車図書館の巡回場所における椅子の設置。
- 居心地の良いカフェのような、おしゃれな内装が良い。

4. 職員の対応・運営に関する要望

- 職員対応の質

- 感謝の声が多い一方で、一部で冷たい対応や不親切な印象を受けたとの声。
- 職員の人件費に関する懸念（土日以外のスタッフ配置の最適化）。
- レファレンスコーナーに職員がいない、忙しそうで声をかけにくい。
- 破損本の弁償時の対応改善。
- 職員の名札に関する意見。
- 図書館職員の雇用形態（正規雇用、指定管理）への関心。

- 図書館間の連携・協力

- つくば市内の各館（中央図書館、交流センター図書室など）間での本の予約・取り寄せをよりスムーズにしてほしい。
- 他市（牛久市など）や県立図書館との共通利用カードや連携強化を求める声。
- 他館（県外、海外）の成功事例の視察に対する提言。

- 運営方針・情報公開

- 廃棄される本のリストや理由の公開。
- 新着資料の受入れ予定の公開。
- リサイクル本の提供の定期化と事前告知。

■ 市長公約事業 No. 84 「複合機能を持つ新たな図書館の整備検討」について

(1) 参加したい・実施してほしい取組(複数回答*)

新しい図書館施設について検討を進める上で、回答者自身が参加したい、又は実施してほしいと考える取組について回答いただいた。アンケート調査に対する要望が多いが、今回の調査における回答方法(アンケート用紙／インターネット)によって、希望するアンケートの手法が異なっていることがわかる(表8)。

* 本来複数回答であったが、インターネットによる回答では設問設定の不備により択一式となった。インターネットによる回答のうち、複数回答を希望とのことで自由記述欄に追記された2件を加算している。

表 8 回答方法ごとの「参加したい・実施してほしい取組」(人)

項目	令和7年度利用者満足度調査の回答方法		合計
	アンケート用紙	インターネット	
アンケート(インターネット)	47	211	258
アンケート(用紙配布・無作為郵送)	56	35	91
インターネット投票	23	33	56
シンポジウム	28	9	37
交流イベント	27	9	36
ワークショップ	20	10	30
その他	4	2	6
無回答	49	11	60

(2) 新しい図書館において、図書館以外にどのような機能があると良いか(自由記述)

全体として、新しい図書館は、単に本を借りる場所ではなく、「学び、働き、遊び、交流し、心身ともにリラックスできる、市民の生活に寄り添った複合的な拠点」となることが強く望まれている。特に、「居場所」としての機能を望む意見が多方面から強調されており、多様な世代がそれぞれのニーズに応じて利用できる、柔軟で開かれた空間設計が重要になると考えられる。

1. 多様な利用ニーズに応える学習・ワークスペース

・ 集中できる学習環境の拡充

「学生の学習スペース」「自習室の拡大」を求める声が非常に多く、特に「フリーWi-Fiの環境」や「電源」が完備された場所。

・ 多様な学習スタイルへの対応

- 従来の静寂を求める学習スペースとは別に、「パソコンを持ち込んでリモートワークや自習ができる環境」、「飲み物や小さな会話が可能なスペース」、「親子でタブレット学習や勉強サポートができる場所」といった、より柔軟な利用が可能な空間。
- コワーキングスペースや、市役所のフリースペースのような「市民に開かれたフリーワークスペース」。自宅や塾以外で気軽に利用できる居場所。

・ 長時間滞在への配慮

- 「お弁当も持ち込める食堂やコンビニ」の併設により、利用者が時間を気にせず滞在できる環境。

2. 子どもから高齢者まで、全世代が過ごせる「居場所」

・ 子どもの居場所・遊び場

- 「子どもが遊べる場所」「屋内プレイ広場」「ハイハイの赤ちゃんが使えるスペース」「未就学児用の小さい机や椅子」など、子どもがのびのびと過ごせる安全な空間。
- 「勉強スペースと別になっており、少し騒いでも親が静かにはと言わないでいられる場所」といった、活動的なスペースと静的なスペースの明確な分離が重要。
- 「見守りの方がいること」といった、子どもの安全確保への配慮も必要。
- 「幼稚園・保育所・小中学校内の図書室整備・拡充」を優先してほしいという、身近な場所での読書機会の提供を求める意見もあった。

・ 高齢者の居場所・交流

- 「高齢者の居場所」「高齢者施設」「病気コーナーに相談またはカフェスペース」など、高齢者が気軽に立ち寄れる、交流できる、あるいは相談できる場としての機能。

・ 全世代共通の居場所

- 「雨天時の憩いの場」「いつでも楽しめるワークショップを提案するエリア」など、災害時や日常的に多世代が交流し、安らげる空間としての役割。

3. 地域コミュニティを育む文化・交流・生活支援機能

- **カフェ・飲食の充実**

- 「カフェ併設」が最も多く、特に「飲食物がちゃんと美味しい、椅子の座り心地がよくてスペースがゆったりしている、自然光が入る、静か」といった質の高いカフェ体験への期待。

- **生涯学習・文化活動**

- 「生涯学習など生活のなかの機能を併設」「ヨガなどの軽い運動や手仕事体験ができるスペースと企画」「ワークショップができる教室」など、市民の多様な学びや活動を支援する場としての機能。
- 「図書館司書体験(子ども向け、大人向け両方)」「おすすめ図書のビブリオバトル開催」といった、本とより深く関われるユニークな企画も提案されている。
- 「美術館の併設」「劇場」「楽器の演奏練習ができる交流センター」など、文化的な活動や鑑賞の機会を提供する場としての役割。

- **教員や学校との連携**

- 「教員が学校の授業で使用する本を大量に貸出できる」といった、学校教育と連携した貸出サービスの要望。
※ 既に中央図書館においては、団体貸出サービスとして利用可能。

- **地域交流・情報共有**

- 「地域交流や防災などに関する勉強会や情報共有できる場」など、市民が必要とする情報を得たり、スキルアップしたりする機会を提供する機能。

- **空間デザインへのこだわり**

- 「那須塩原市図書館みるるのような、おしゃれな建築」や「TSITE、松本十帖のような本棚と読書コーナー」といった、空間デザインへのこだわりも示されている。

4. 利便性とアクセス性の向上

- 駐車場

- 「広い駐車場(無料)」「雨でも濡れない駐車場」など、アクセスしやすい駐車場の確保が改めて強く要望されている。

- 書店

- 図書館と書店を併設してほしいとの意見が多数寄せられた。

- 日常の用事との連携

- 「ついでに図書館にも行こう」という動機付けのため、「買い物や飲食休憩、医療施設など日常の用事をすませやすい場」と併設。

(3) 新しい図書館の整備場所(自由記述)

多岐にわたる意見が寄せられたが、中でも、交通の便が良い場所や駐車場が広く確保できる場所への要望が多かった。主要な意見は下記のとおり。

1. 整備を希望する場所

- TX 沿線駅周辺

特に万博記念公園駅周辺、みどりの駅周辺、研究学園駅周辺を挙げる声が多く見られた。これらの地域は人口が増加しており、利便性が高いとされている。

- 万博記念公園駅周辺

人口増加地域であり、寂しい現状を変えたいという意見もあった。

- みどりの駅周辺

子供の人口が多い地域であり、図書館が少ないためニーズが高いとされる。

- 研究学園駅周辺

人口が多い地域。既存の中央図書館へのアクセスが悪い。一方で、交通渋滞を懸念する声もあった。

- つくば駅周辺

現在の中央図書館がある場所の建替えやリニューアル、又は駅直結・駅ビル内など、よりアクセスしやすい場所を希望する意見が多かった。

- **市役所周辺**

駐車場が確保しやすく、アクセスが良い。

- **道の駅隣接**

新しく整備される道の駅の隣に図書館を併設してほしいという意見も複数あった。

- **周辺市街地・市内北部・市内南部・市内西部など**

つくば駅や研究学園地区に設備が集中している現状を踏まえ、市の中心部以外での整備を望む意見があった。

- 筑波地区
- 谷田部地区
- 大穂地区
- 流星台の子育て支援センター付近
- 陸上競技場付近
- 茗溪学園の跡地
- 並木
- 病院の付近
- 松代
- 香取台中学校建設予定地
- 上郷高校跡地
- 陣場
- 若森
- 桜

2. 整備場所選定に対する意見

具体的な整備場所だけでなく、どのような施設にしてほしいか、どのような条件を満たしてほしいかという点についても多くの意見があった。

- **駐車場**

「無料」「広い」「時間制限なし」「敷地内」など、駐車場の充実を求める意見が圧倒的に多く寄せられた。現在の図書館の駐車場が不便であるという声が多数あった。

- **交通アクセス**

「電車・バスとのアクセスが良い」「駅やバス停から徒歩圏内」「車以外でも行ける」など、公共交通機関での利便性を重視する意見が多い。

- **既存施設との連携・再利用**

現在の中央図書館の改築・リニューアルを望む声や、閉校になった校舎や旧官舎の再利用、ショッピングモールへの併設・隣接を提案する意見もあった。

- **地域分散**

「大きな施設を一か所に作るのではなく、各地域に分けて作るべき」「各交流センターに一つずつ欲しい」といった、地域ごとの利便性を考慮した分散配置を求める声があった。

(4) その他

上記自由記述の欄において、図書館に関する多様なご意見を頂戴した。

- **図書館の必要性・機能に関する意見**

- 「必要ない」「構想自体再検討すべし」という意見や、「図書館に来る時代ではなくなる」「電子書籍が主流になる」といった、図書館の役割そのものに対する疑問の声。

- 「読書人口が10万人ぐらいと書いてあることが複数ある」「決まった人しか利用しない施設」といった、利用者の実態に関する言及。
- 防災施設との併設や、避難所としての活用、本がメンタルケアに繋がる可能性について触れた意見。

- **既存施設の運営・改善に関する意見**

- 「既存の図書館でやってほしい」「既存の図書館、図書室は今のままで運営を続けてほしい」という意見。
- 「各地区にあるといい。土・日に認知症サポーター養成講座を図書館でも開催してほしい」「学区で図書館があるので地域交流のイベントを開催してほしい。高齢になっても地域との関わりがある地域になってほしい」など、図書館が地域交流の拠点となることへの期待。
- 郊外の交流センター図書室の充実や維持を求める声もあり、特に「図書の種類・数が少ない」「建物・設備が老朽化している」といった現状への課題意識。